



### 第4回京都丹波トライアスロン大会

8月25日(土)・26日(日)に第4回京都丹波トライアスロン大会が行われました。今回の大会には全国から中学生から80歳代まで475名の参加者がありました。



25日の開会式には参加者と共に地元の八木中学校の吹奏楽部の演奏やチエリーズによるチアダンスが披露され、開会式に花を添えました。また、地域の方々もフードコートに出店され、地域を挙げての取り組みになってきました。



今回の大会は第1回高等学校トライアスロン選手権を兼ねており、地元の亀岡高等学校、南丹高等学校の生徒を含め、47名の高校生が初チャレンジを行いました。

今回の大会はスタンダードデイスタンス(S1500m、B40km、R10km)スプリントデイスタンス(S750m、B18.4km、R5km)スーパースプリントデイスタンス(S375km、B10km、R2.5km)スーパースプリントレース(3人で分担して水泳、自転車、ランニングを行う)(S375m、B10km、R2.5km)の4種目が行われる予定でしたが、残念ながら、今年は台風20号の影響でスイムが出来なくなり、デユアスロンとなりました。が、選手たちは懸命に猛暑の丹波路を駆け抜けていきました。



元オリンピック選手の山本良介選手や安田大サカスの団長など、有名な方も参加される一方、この大会は「日本一、初心者に優しい大会」ということを掲げており、様々な方が参加されています。



上の2チームはスプリントレースに昨年に引き続き出場していた地元の南丹警察署と京都信用金庫のメンバーの皆様です。

また、このように9か月の赤ちゃん連れのお母さん選手もおられました。左は第1回の高校選手権を制した初代高校生クイーン。はじけんばかりの笑顔振りまっています。各種目を制した皆様の満面の笑みもご覧のとおりです。



そして、今年のもうひとつの大きな特徴は園部高校生と八木中学生がボランティアとして参加してくれたことでした。炎天下のゴール付近で疲れ切った選手たちに声をかけ、笑顔でタオルをかけていました。本当に手作り感満載の温かい大会となりました。

